



2005年「国際薬膳師(士)」合格証書授与式 中日薬膳学術シンポジウム並びに「国際薬膳貢献賞」表彰式が 北京で開催されました

6月25日、1900年創業で世界60ヶ国のVIPが宿泊した北京を代表する北京飯店が43名の日本からのお客さんを迎えました。

翌日、世界文化遺産の頤和園の聴鸞館にて2005年「国際薬膳師(士)」合格証書授与式・中日薬膳学術シンポジウム・「国際薬膳貢献賞」表彰式が行われました。

式は中国薬膳研究会、沙鳳桐副会長のご挨拶にはじまり、周文泉会長と本草薬膳学院辰巳洋学院長が中日の薬膳事情をそれぞれ報告しました。周文泉会長から今年度資格認定試験合格者に証書を授与し、本草薬膳学院の卒業生大村和子さんが合格者を代表し感謝の言葉を述べました。

また、元国家中医薬管理局副局長の田景福主任医師が第一回目の「国際薬膳貢献賞」を授与される方のお名前を発表し、立派な賞状を渡しました。

中国薬膳研究会学術部の魏子孝教授が学術シンポジウムを主持し、日中両国の専門家・学者が論文を発表しました。

最後に、国家中医薬管理局李大寧副局長、民政部社団管理部門の責任者が「日中両国の薬膳の学識者、勉強家が学術交流を行い、薬膳を通じて健康長寿を求め、中医薬学に貢献しました。政府行政部門にとって、薬膳は中医薬の一部として重視しています。中国薬膳研究会は民政部で認めている唯一の薬膳の学術団体で、設立後は国务院、国家中医薬管理局、科技部に多くの仕事を任されています。今後、さらに国際的に活躍して欲しい」とのお話をいただきました。

国際薬膳師名簿(51名)

東京都(23名)

大村和子(中医薬膳師・会社員) 松本しず子(中医薬膳師・会社員) 稲垣真琴(中医薬膳師・会社役員)
加藤裕美子(中医薬膳師・薬剤師) 植山美保(中医薬膳師・栄養士) 加山広子(国際薬膳調理師)
赤松陽子(中医薬膳師) 佐藤榮子(管理栄養士) 鈴木順子(栄養士) 上谷伸子(栄養士)
柴田洋子(管理栄養士) 藤田和子(管理栄養士) 清水紀子(管理栄養士) 河本壽恵乃(管理栄養士)
首藤真弓(栄養士) 佐藤和美(管理栄養士) 横山美保子(栄養士) 飯田和子(栄養士・調理師)
勝倉直子(栄養士) 星直美(管理栄養士) 石山典子(管理栄養士) 浅井さつき(管理栄養士)
湯脇さおり(管理栄養士)

神奈川県(10名)

脊戸川禮子(管理栄養士) 大角淑枝(管理栄養士) 久保田順子(栄養士) 浅原美紀子(管理栄養士)
橋本和代(管理栄養士) 織田静子(管理栄養士) 阪本千鶴子(調理師) 渋谷久恵(管理栄養士)
野沢育代(栄養士) 浅野八恵子(管理栄養士)

愛知県(16名)

石田いく袴(中医薬膳師) 吉川祐美(中医薬膳師) 杉山文沐子(中医薬膳師) 渡辺裕時美(中医薬膳師)
神谷武志(中医薬膳師) 大村秩左都(中医薬膳師) 原田文恵(中医薬膳師) 山下晃毅(中医薬膳師)
前田莓日子(中医薬膳師) 加藤千草(中医薬膳師) 鈴木美映(中医薬膳師・調理師)
秦榎有海(中医薬膳師) 鈴木美希(中医薬膳師) 坂本昌聲(中医薬膳師) 篠田佳樹(中医薬膳師・調理師)
上村留理子(中医薬膳師)

熊本県(1名)

永田雅子(中医薬膳師・調理師)

大分県(1名)

古谷斉児(中医薬膳師)

国際薬膳士名簿(3名)

東京都(2名)

塩野都子(中医薬膳師・主婦) 釜口弥生(中医薬膳師・管理栄養士)

神奈川県(1名)

栗田紹(管理栄養士)



田景福先生
本草薬膳学院最高顧問就任

2004年中国薬膳コンテストに参加した折に、田景福先生は日本本草薬膳学院の皆さんにはじめてお会いになりました。このたび、多くの国際薬膳師(士)資格認定試験に合格し、日本の皆さんが薬膳に対し、熱心に努力する姿に感心し、日中の学術交流、文化友好の往来をさらに発展させるために、本校の劉海洋学院長の招聘に応じて、本草薬膳学院の最高顧問に就任されました。これから本校のさらなる発展を図りたいと思います。



田景福主任医師略歴

元中国衛生部中医司司長、国家中医薬管理局が設立後、副局長に任命される。以来長期間に渡り、中国の中医薬管理、国家の中医薬科学技術研究、医療、教育などの政策、管理条例の制定、発展に多大な足跡を残す。

現在、国家中医薬管理局諮詢委員会委員、中国薬膳研究会の名誉会長、中国中医薬学会顧問、北京康強中医薬研究所所長など職を務める。